

住民ワークショップの進め方

1. 第2回住民ワークショップのテーマ

テーマその1:教育と文化、生涯学習の「課題解決方法」を考える

〈趣旨と内容〉

- 南風原町の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」を実現するために、第1回住民ワークショップで出た「現状と課題」に対して、解決方法を検討します。

テーマその2:教育と文化、生涯学習の「まちづくり目標」について考える

〈趣旨と内容〉

- 南風原町の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」を実現するために、分野ごとの「まちづくり目標」と「まちづくり目標を達成するための柱」について考えます。
- 参考資料として、資料3南風原町の将来像とまちづくり目標を活用してください。

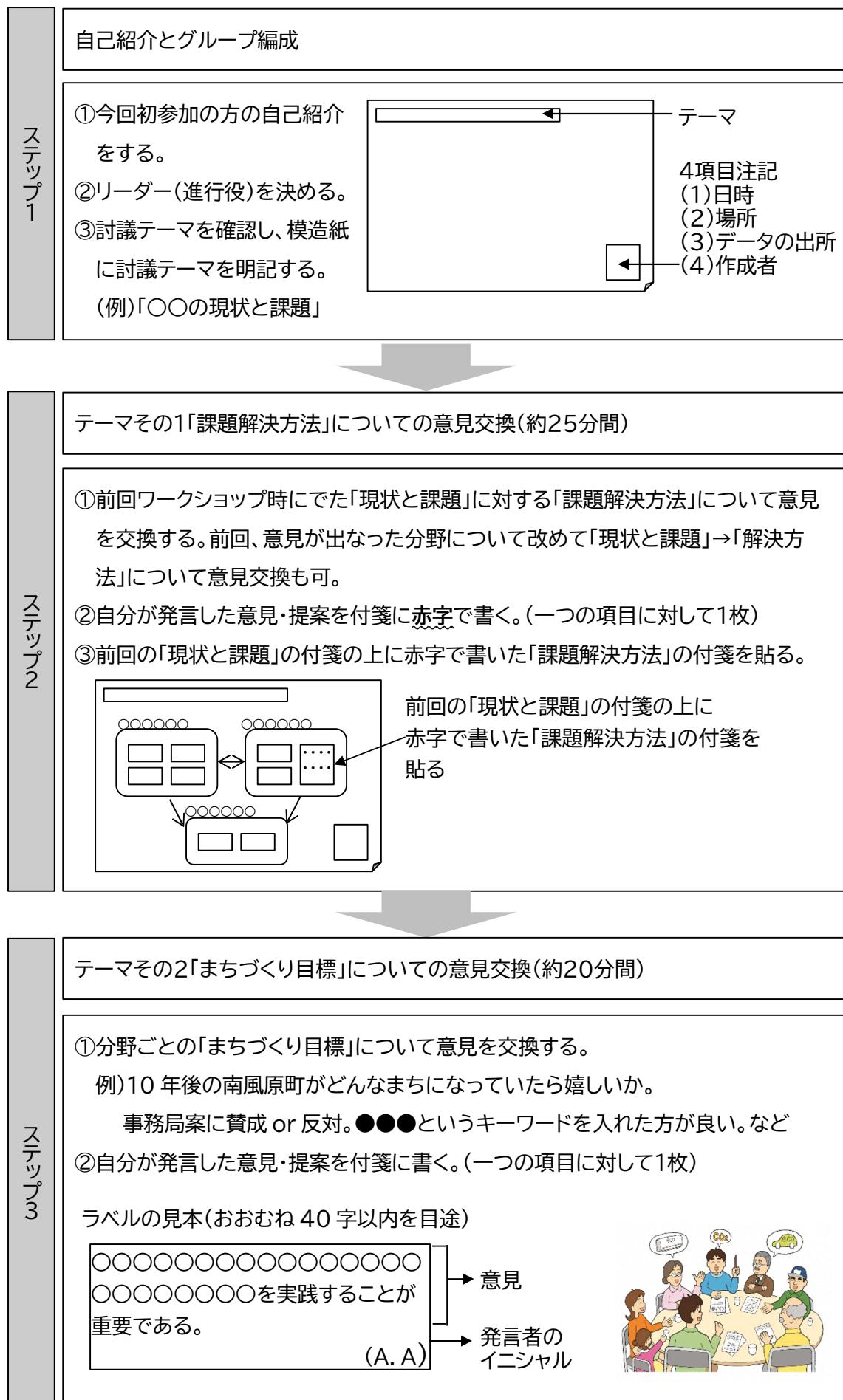
- 
- 第3回住民ワークショップ(めざす姿の検討)の基礎資料として活用します。
 - 今後の検討組織であるワーキングチーム、策定委員会、審議会等の会議の基礎資料となります。

2. 住民ワークショップの進め方

- 会議全体の進行は、ファシリテーターが行います。(全体運営、アドバイス、時間管理等)
- グループごとの進行はグループリーダーが行います。
- 意見が出にくい、内容理解に対する質問、図解作成の効率化を図るために、各グループにアドバイザーを配置します。

ワークショップを進める上のルール

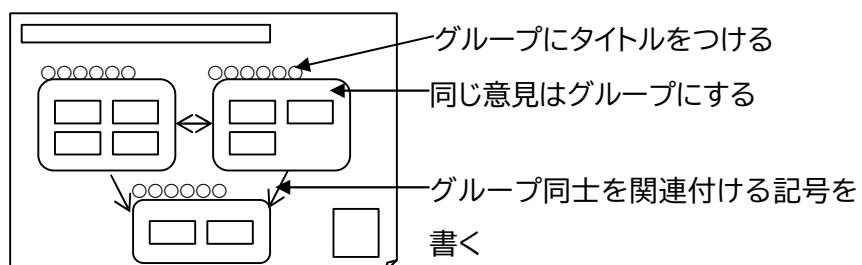
- ①意見、提案は質より量を求めましょう。
- ②相手の意見を批判せず、建設的な意見交換の場としましょう。
- ③立場や肩書に関係なく参加し、自由に意見を出しましょう。
- ④言わなかった意見でもどんどん付箋に書いて出しましょう。
- ⑤ワイワイガヤガヤの自由な雰囲気で進めましょう。



ステップ4

図解の作成

- ①参加者が交替で自分が書いた意見(ラベル／付箋)を1枚ずつ読み上げ、模造紙に貼る。他の人は、読み上げたラベルと同じ意見があった場合は、読み上げて提出し、グルーピングを行う。
- ②全てのラベルを読み上げとグルーピングが完了したら、島取りをし、島ごとに表題をつける。
- ③島と島との関係線や文字を書き込み、全体像が分かるようにする。



関係記号の種類(見本)

	記号	意味		記号	意味
①	————	関係あり	⑥	》——《	反対、対立、矛盾
②	————→	因果関係、手順	⑦	└┐	支える
③	←————→	相互関係	⑧	○○○○○	波及する
④	←————→	相互補強関係	⑨	■■■■■	浸透する 混沌としている
⑤	↔	循環する			

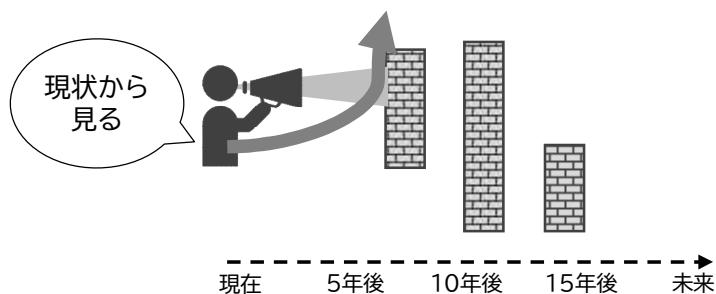
ステップ5

結果の発表、情報の共有

- ①班ごとに発表者を決める。(最初の段階で決めておくと発表しやすい。)
- ②発表内容を決める。
- ③図解見えるところに張り、結果を発表する。(各班5分程度)
- ④質問を受ける。

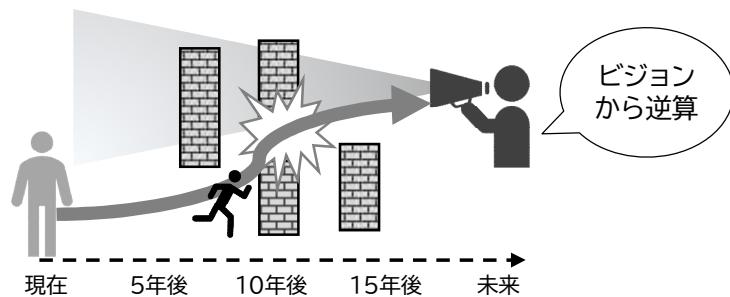
【コラム】

何故ビジョンを明確にする必要があるのか?
フォアキャスティングとバックキャスティングの違い



フォアキャスティング

現状を分析し、目の前の課題を解決する。
ただし、必ずしも理想の未来に向かうとは限らない。



バックキャスティング

理想の未来(ビジョン)を明確にし、そこから逆算することで、今すべきことを発想する。現在と未来に関係の強い課題を効率よく解決する。